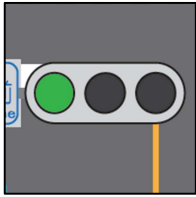
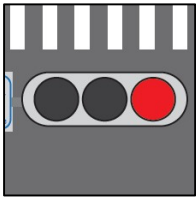


## 【信号機】



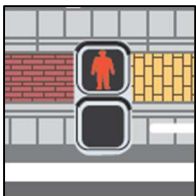
あおしんごう  
青信号



あかしんごう  
赤信号



あおしんごう  
青信号



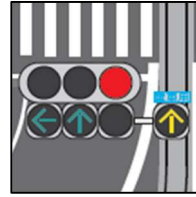
あかしんごう  
赤信号

### <信号機>

事故が起きないように、歩行者も車両も信号機に従う必要があります。青信号は、歩行者は横断でき、車両も進むことができます。黄色信号は、横断し始めたり、進んだりしてはいけません。赤信号は、歩行者は横断できず、車両は停止線を越えて進むことができません。

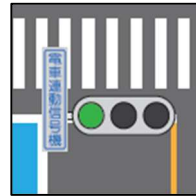
### <歩行者・自転車専用信号機>

歩行者と歩道を走っている自転車用の信号機です。青信号の時は進んでも道路を渡っても良いですが、赤信号では進むことも道路を渡ることもできません。青信号が点滅し始めると、もうすぐ赤信号に変わるので、必ず次の青信号まで待つようにしましょう。



### <LRT用信号機>

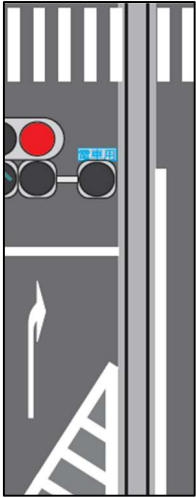
LRTの併用軌道区間では、信号機の横にLRT用のオレンジ矢印の信号機が設置されています。LRTはオレンジ矢印に従って進みますが、歩行者や自転車は歩行者・自転車用信号機に従って、車両は通常の信号機と青色の矢印に従って進むようにしましょう。



### <電車連動信号機>

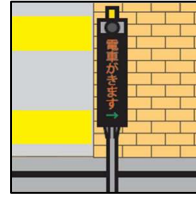
LRTの走行している一部の区間では、電車連動信号機が設置されています。この信号機が設置されている場所では、信号機がすべて赤信号のタイミングでLRTが通過します。危険ですので、絶対に信号を守るようにしましょう。

## 【LRT 関連構造物】



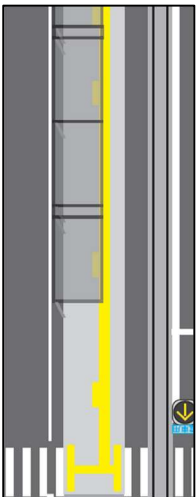
### ＜併用軌道＞

へいようきどう  
L R T の一部走行区間  
では、道路の中央部分に  
軌道が敷かれている区間  
があります。原則、軌道敷  
内には進入してはいけ  
ないので気を付けましょ  
う。



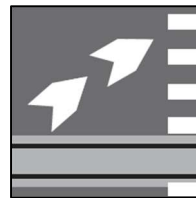
### ＜接近表示器＞

せつきんひょうじき  
信号機がない横断箇所や  
電停には、L R T の接近  
を知らせる「接近表示器」  
が設置されています。「電  
車がきます」と表示されて  
いたら横断しないでくださ  
い。



### ＜電停＞

でんてい  
L R T に乗り降りする場  
所です。併用軌道区間の  
電停は道路の中央部分に  
あり、横断歩道から出入り  
します。電停付近では歩  
行者にも注意しましょ  
う。



### ＜矢羽根型の路面標示＞

やばねがた ろめんひょうじ  
主に、併用軌道区間の交  
差点に設置され、右折時  
にどこを走るのかを分か  
りやすくする標示です。右折  
時に誤って軌道敷に進入  
しないよう気を付けましょ  
う。

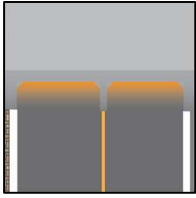


### ＜交通島＞

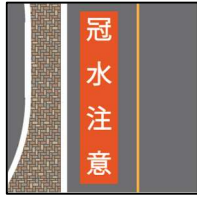
こうつうじま  
電停などに設置される、ク  
ルマの進入を防ぐ構造物で  
す。右折時に接触したり、  
自転車で横断歩道を走る  
際に接触しないよう気を付  
けましょ  
う。

## 【その他構造物】

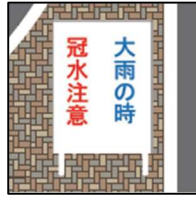
### <アンダーパス>



アンダーパス



ちゅういかんき  
注意喚起  
ろめんひょうじ  
路面標示



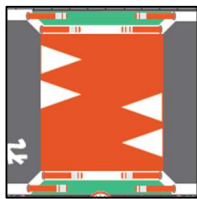
ちゅういかんき  
注意喚起  
ひょうじ  
標識

アンダーパスとは、線路や道路などの下を通過するために周辺の地面よりも低くなっている道路のことです。踏切や渋滞を避けることができる便利な道である一方、台風やゲリラ豪雨などの大雨の際に冠水してしまう危険性もあわせ持っています。国土交通省関東地方整備局の資料によると、集中豪雨などの大雨の際に冠水する恐れがあるアンダーパスは栃木県内に105ヶ所存在しています。冠水する危険のあるアンダーパスには、冠水情報板や注意喚起の標識、水深表示などがある場合が多いですので、通行の際にはそれらを参考にして状況を判断してください。

### <ゾーン30プラス>



スムーズ  
おうだんほどう  
横断歩道



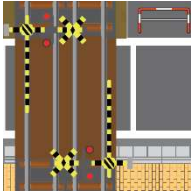
きょう  
ハンプ・狭さく



ろめんひょうじ  
路面標示

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を作る「ゾーン30」に、さらに対策を行っているのが「ゾーン30プラス」です。ゾーン30プラスに加えて、ハンプやスムーズ横断歩道、狭さくなどといった物理的デバイスを組み合わせることで交通安全の向上を図り、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備に取り組むものです。

## ふみきり 〈踏切〉



ふみきり  
踏切

ふみきり せんろ どうろ へいめん こうさ ぶぶん ふみきり まえ かなら た ど さゆう  
踏切とは、線路と道路が平面で交差する部分です。踏切の前では必ず立ち止まり、左右  
あんぜんかくにん うえ わた けいほうき な はじ でんしゃ く あいず でんしゃ  
の安全確認をした上で渡りましょう。警報機が鳴り始めたら電車が来る合図です。電車は  
きゆう と けいほうき な はじ ふみきりない ぜったい はい  
急には止まれないので、警報機が鳴り始めたら踏切内へは絶対に入らないでください。また、  
クルマで渡る時は、特に踏切の向こう側のスペースに余裕があるかどうかにも気を配る必要  
があります。もし、ふみきりない うご ひと しゃりよう ばあい ひじょうていし お  
踏切内で動けない人や車両がいた場合、すぐに「非常停止ボタン」を押  
してください。